

科目名	人間と文化			復習用ビデオの録画・配信 —	開講期間	10月2日～1月29日		
	英文科目名	Human and Culture		モバイル配信授業 —	開講時間	金曜日 9～10限 16:00～17:25		
受講定員等	担当教員	高橋 明彦		eラーニング —	開講場所	金沢美術工芸大学 視聴覚教室		
	単位数	2単位			成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・書誌学実習3回（冬休みの宿題を含む）の提出 ・筆記試験1回（学期末） ・授業時間内での感想文の提出（毎回） 		
	定員数	30名						
	特別聴講学生等定員							
	科目等履修生定員							
	シティカレッジ聴講生定員							
	定員超過時の選考方法等	受付順						
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)			科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：5月25日～6月5日			
					検定料	入学料	授業料	別途負担費用
					28,200円 (市内居住者及び本学卒業生)	29,600円		
					56,400円 (その他の者)			
科目の内容	(テーマ) 江戸のメディア—近世印刷出版史論						その他特記事項	
	<p>近世(江戸時代)は印刷の技術革新がなされ、出版が営利事業として成立し、流通が確立した日本最初の時代である。書物においては、民間の本屋が林立し、株仲間が組織され、数多の書籍が製作された。絵画においても、絵手本・浮世絵等は本屋のプロデュースによるものである。一方、官営・藩営・自社等の書物・印刷物の作成も盛んであり、また、文学・絵画等の芸術・学問的なもののみならず、草双紙・暦・実用書・日用雑貨なども印刷文化の中で消費されている。明治時代以降の出版文化・技術革新も視野に入れつつ、これらの諸現象を、初歩的な解説も含め、多面的・実践的に概括する。</p> <p>授業は、前半を書誌学(版本を形態的に扱う学問)を実習し、後半は江戸の出版流通機構の講義とする。</p>							
授業担当教員紹介			URL					
ホームページ・メールアドレス等			E-mail					